



富山市立奥田北小学校

ひ ま わ り
向 日 葵

令和6年度
学校だより

12月号



学校HP
QRコード

師走 今年もあと少しとなりました

校長 中山 隆博

12月になり、寒い日が続くようになりました。天気予報にも雪マークが見られるようになり本格的な冬の到来を感じさせます。早いもので令和6年が幕を閉じようとしています。元日の能登半島地震に始まった令和6年、あれからもう1年が過ぎようとしているのかと、時の流れの速さを実感しています。

この1年、奥田北小学校では「心と行動を磨き、主体的に生きる子供の育成」という教育目標の具現化を目指し、様々な取組を行ってきました。活動の実施に当たっては、家庭、地域の皆様からたくさんのお力添えを頂戴いたしました。お陰様で、子供主体の充実した活動を進めていくことができました。改めて学校の教育活動にご理解・ご協力をいただいた皆様に、心から感謝申し上げます。どうもありがとうございました。



地域の皆様とともに
感謝のつどい 11月22日

学校は、あと数週間で冬休みに入ります。クリスマスやお正月などもあり、子供たちも心待ちにしていることと思います。休み中の過ごし方は、各家庭それぞれかと思いますが、冬休みは、1年の締めくくりと新しいスタートとなる大きな節目です。また、いつもの休みと違って、年末年始は家族そろっての時間が多くとれるチャンスです。役割分担をしての大掃除、外出時や来客時の場や季節に応じた挨拶の経験、親子で読書や書き初めに挑戦してみるのもよいでしょう。さまざまな行事に触れ、学校では得られない体験を積んだり、家族の一員としての自覚やマナーを学んだりできる貴重な機会としていただけたらと思います。

♥人権週間

12月4日から12月10日まで「人権週間」です。全国各地で「人権」に関わる取組が行われていると思いますが、学校においても11月から「人権感覚チェック表」による振り返りや「ぼかぼか言葉・ちくちく言葉」についての話し合い、人権に関する標語等の募集、動画視聴等様々な取組を進めています。

人権とは、**人間が人間らしく生きていくために社会によって認められる権利**であり、一人一人をかけがえのない存在として認めていくことが求められています。自分自身にも人権があり、周囲の人々にも人権があります。しかし昨今の世の中では、他者の人権を軽視あるいは無視した言動が多いように感じます。様々な偏見、差別、予断等で人間としての尊厳が侵害されるケースが多発しています。また、児童虐待やヤングケアラーの増加、いじめ、自殺、不登校の深刻化等、子供たちにとっても生きづらい状況となっています。

「人間らしく生きていく」ということは、「自分を大切にすること」「自分らしく生きること」であり、まずは「自分がかげがえのない存在」として認めることから始まるのではないかと思います。加えて、自分自身だけでなく、友達や家族、学校の先生や周囲の大人たちの権利も大切にするという視点をもつことも大切です。自他を大切に思い、実践する姿は、学校の教育目標「心と行動を磨き、主体的に生きる子供の育成」の実現にもつながるものだと考えます。

人権週間の最終日、12月10日(火)は「世界人権デー」です。ウクライナや中東等に見られる戦争や紛争は最大の人権侵害を生み出す行為です。また、日本国内における事件や不祥事等においても、人権意識の希薄さが要因としてあると考えられます。ご家庭におかれても、人権について考え、話し合う機会となればよいと思います。



人権に関する詩・標語